

C 11/15(土)9:50-12:50 (受付開始 9:00)

薬疹の診かたと注意点

講座情報

薬疹は、患者さんを治療するために投与が必要であった薬剤に対して、過剰な免疫応答が生体で生じる状態であり、その一症状が皮膚に発疹として生じるため「薬疹」と呼ばれる。肝機能障害、腎機能障害など多臓器にわたって障害を来す恐れがある上に、重症型では致命的となりうるため、単に皮膚だけの問題でなく、つねに全身状態を把握する必要がある急性疾患と言える。通常の疾患と異なり、薬疹の発端は多くが医療行為に基づくものであることから、大きな社会的問題であり、これを予防、治療することは、医療従事者全体の責務である。本公開講座ではできるかぎり症例を供覧し、薬疹がどのようなものであるのかを理解して頂ける様な内容にしたい。

講演者情報

高橋 勇人

慶應義塾大学医学部皮膚科学助教